

30. 病院診療機能維持への対応

(学内対応分)

実施時期又は期間

震災発生直後から平時まで

対応部局及び人員

附属病院全体で対応

実施の背景・目的

東日本大震災の発生により、本院では建物への直接的な被害はなかったものの、これに伴う大規模停電、その後の計画停電の実施により、電力供給の低下、電話及びインターネット等の通信設備機能の停止等により、診療機能に多大な障害が発生した。

(詳細は別紙(東日本大震災緊急対策本部記録)を参照。)

実施概要

上記に対応するため、附属病院内に病院長を本部長とする「東日本大震災緊急対策本部(太平洋沖地震附属病院対策本部)」を設置し、情報収集及び対策について協議した。

問題点と対応策

1. 院内医師の連絡網がない。連絡できないとき(携帯での連絡不可の場合)の体制が不十分である。

対応策: 複数診療科横断的診療システム連絡網により対応する(医療安全管理マニュアルポケット版42頁)。施設環境部から災害時優先電話6台を確保する。

2. 緊急時の責任体制が明確にされていない。病院長→副病院長→病院長補佐→職員他。

対応策: 現有防災対策委員会の布陣を改めて確認する。

3. 冬季停電の場合、寒さ対策が必要である。

4. 自家発電能力の不足により心血管造影、血液浄化(透析)療法室などの高い電力を消費する部署が稼働できなくなった。

対応策: 大学病院としての機能維持に必要な最小限の医療機器を選択する。

本院の電力供給能力を把握し、優先順位を決めるとともに必要な部署に無停電電源装置を導入する。

担当部局名

附属病院事務部

その他参考となる事項

東日本大震災緊急対策本部記録

東日本大震災弘前大学医学部附属病院事務部記録



第3回 東日本大震災緊急対策本部（太平洋沖地震附属病院対策本部）での対策会議の様子

東日本大震災緊急対策本部記録（弘前大学医学部附属病院）

平成 23 年 3 月 11 日（金）

午後 2 時 46 分，東日本太平洋沿岸地域にマグニチュード 9.0 の大地震発生
地震発生時の各部署の現状と対応

1. 停電時手術 5 件：眼科，消化器外科，心臓血管外科（体外循環終了後），婦人科。いずれも無事終了。
2. 停電に対する対応：非常用電源装置（手術部の無停電電源装置作動）から自家発電への切り替わりは問題なし。
3. 透析室：蒸留装置の電源が止まり透析を中止（3 月 12 日電源復旧後再開）。
4. 放射線部：循環器内科カテーテル治療中に停電し，中止。
5. 医療情報システム停止（データがこわれる可能性があるため）。放射線，検査，薬剤等の指示が手書きに変更。
6. 高度救命救急センターからの給食要請で，保嶋副病院長指示により職員用給食の対応の指示。
7. 高度救命救急センターより第 1 次 DMAT 隊出発（18 時 30 分）。23 時 40 分ごろ岩手県立二戸病院到着。
8. 各病棟巡回（山本当直師長，福田副病院長）：病棟の呼吸器，モニター等不具合を調べる，ICU 空調がやや不十分。病棟の空調が不十分なため毛布を配布。トイレの流し水が混濁（井戸水が攪拌されたため）。早狩薬剤部長，砂田看護部長による病棟巡回。
9. 手術室で緊急手術対応の滅菌器が動かないため，材料部の滅菌器を使用（関係業者に携帯電話がつながらず，連絡に時間を要する）。
10. 「東日本大震災緊急対策本部（太平洋沖地震附属病院対策本部）」の設置について，出張中の花田病院長から電話により了解を得る（通信システムの機能不十分）。福田副病院長（責任者），千葉事務部長が対策本部のメンバーを招集。病院長補佐の所在確認。
11. 外来受付ホール：テレビの情報と暖を求めて 20 名近い患者家族，医師等が宿泊。毛布を配布。
12. 事務部：事務部長，各課長が待機，情報収集。
13. 高度救命救急センター受診患者 17 名，うち 7 名入院。1 名は他院対応不能のため緊急手術施行（急性腹症）。一酸化炭素中毒 6 名収容。軽症の 2 名は他院に依頼。
14. 検査部復旧のため数名待機，輸血部緊急対応のためほぼ全員待機。

平成 23 年 3 月 12 日(土)

1. 午前 7 時頃電気の供給再開。
2. 津軽地区災害拠点病院の状況確認：弘前市立病院と連絡つかず，黒石市国民健康保険黒石病院の電気回復を確認。医師会との連絡先が不明。
3. 施設環境部：本町地区施設室にヘリポートの除雪を指示。
4. 「東日本大震災緊急対策本部（太平洋沖地震附属病院対策本部）対策会議」開催を決定（緊急対策本部メンバーならびに全部門の代表者招集）。
5. 午前 9 時 「第 1 回 東日本大震災緊急対策本部（太平洋沖地震附属病院対策本部）対策会議」開催。
 - (ア)高度救命救急センター状況：浅利センター長より DMAT 隊の状況報告あり。文科省より被ばく患者受入れの可能性についての問い合わせがあることに関して，被ばく重症患者 1 名，軽症患者 2-3 名程度の受入れが可能である，との回答を得る（病院長に電話報告）。
 - (イ)放射線部午前 8 時 30 分技師全員出勤。救急対応体制を決定。電気復旧により CT，血管造影の対応可能。放射線科医師は IVR 対応可能な体制をとる。レントゲンは当面フィルムで対応（在庫が少ない現状に対して経理調達課と対応）。
 - (ウ)検査部：復旧。当面紙媒体での報告。医療情報システムの復旧後は通常対応。
 - (エ)輸血部：仙台からの搬送ができないため，県内備蓄分のみで対応。血小板は不足。スぺンダー採血は不可能。
 - (オ)給食：14 日夕食まで備蓄分で対応可能。
 - (カ)弘仁会：高度救命救急センターおよび職員に炊き出し。おにぎり 300 個と漬け物を準備。
 - (キ)手術室：臨時手術対応可能。EOG 滅菌不可のため中央材料部の滅菌器を使用。
 - (ク)透析室：復旧後 3 月 11 日午後中止患者の透析施行。他院からの依頼が増える可能性があるが，満杯のため鷹揚郷病院等を紹介することとする。
 - (ケ)医療情報部：電気再開後の復旧作業中。復旧完了後院内放送で連絡する。
 - (コ)光学医療診療部：対応可能。放射線部での緊急対応時に光学医療診療部業務を兼ねている看護師が不足する可能性を指摘。
 - (サ)薬剤部：薬剤師が各病棟に薬剤を配布。
 - (シ)集中治療部：重症対応のため回復期患者を病棟に転床。
 - (ス)病棟空床 109 床，各病棟に患者受け入れを要請。
 - (セ)麻酔科長から，輸血が確保できない可能性が高いので，週明けの定時手術の調整が必要との指摘有。13 日朝に調整することを決定。
6. 午後 6 時 「第 2 回 東日本大震災緊急対策本部（太平洋沖地震附属病院対策本部）対策会議」開催

(ア)高度救命救急センター長報告

- ① 第2次DMAT隊宮古市内に救援に向かう。DMAT勤務1週間まで延長の要請あり。
- ② 受け入れ患者12名、うち八戸から3名のヘリコプター移送。
- ③ 被ばく対応のための解毒剤（ヨード剤）の準備が整う。
- ④ 県内の病院の受け入れ状況の報告。
- ⑤ 高度救命救急センター連絡責任者 12日夜は花田副センター長、13日夜は浅利センター長。
- ⑥ 応援医師：研修医の応援を得ている。13日以降は診療科からの応援も考慮してほしい。

(イ)医療圏内のインフラ復旧状況：津軽地区、青森地区、むつ地区、大館地区の病院のインフラ復旧。南部地域は停電持続。八戸市立病院は自家発電対応。国立病院機構八戸病院から人工呼吸器装着患者30名の一部、16日以降の受け入れの打診あり（返答未）。

(ウ)放射線部：緊急対応体制。

(エ)検査部：緊急対応体制。高度救命救急センターの検査をできる限り早く対応。

(オ)輸血部：スぺンダー採血可能。血液製剤は他地域からの空輸も可能かもしれないが、優先順位を考慮して決定すべき。

(カ)手術室：臨時手術対応可能。

(キ)病棟：高度救命救急センターの一部患者を13日朝に転棟、空床状況を報告。

7. 青森空港再開。花田病院長帰院。福田副病院長、千葉事務部長より対策状況の報告を受ける。病院長院内巡回（ICU、NICU、手術部、高度救急救急センター）。

12日15時36分、福島第一原発1号機建屋で水素爆発

平成 23 年 3 月 13 日(日)

1. 午前 9 時 「第 3 回 東日本大震災緊急対策本部（太平洋沖地震附属病院対策本部）対策会議」開催
 - (ア) 高度救命救急センター長報告
 - ① DMAT 隊は宮古で活動中。
 - ② 夜間の入院はなし。
 - ③ 救命救急センター受け入れ態勢はほぼ通常の体制。
 - ④ 南部地区の電気再開。国立病院機構八戸病院の人工呼吸器装着患者の転送は不要となる。
 - ⑤ 今後の震災関連搬送患者は外傷、熱傷など周囲の病院で受け入れられない重症救急を受け入れる。
 - (イ) 3 月 14 日からの業務は基本的に平常業務を行う。制約因子となるものは輸血。中期的には物流の障害による薬剤の供給、医療材料の供給の回復が重要。
 - (ウ) 放射線部，放射線科：通常の休日体制＋緊急バックアップ体制可能。3 月 14 日からの PET は薬剤入手困難のため中止。RI 検査は 3 月 14 日までに可能な範囲を明らかにする。放射線治療は予定患者の治療のみで一杯なので、他院からの受け入れは困難。
 - (エ) 検査部：通常の休日体制。3 月 14 日からは平日体制。
 - (オ) 給食：治療食も含めて対応可能。牛乳，ヨーグルト，納豆などの供給が滞っている。
 - (カ) 血液浄化療法室：周辺の透析医療機関は回復。現在の透析患者は院内対応で 12 名，火・木・土を運用すると最大 10 名の対応は可能。他透析医療機関の稼働状況を見て，受け入れを対応するかどうかは判断する。
 - (キ) 輸血部：RCC，FFP は県内備蓄分で対応は可能。血小板は予約のみに対応で緊急対応は不可。スパンダー採血は可能だが，供血者の確保は困難である可能性が高いので配慮をお願いしたい。
 - (ク) 手術室：2000cc 以上の出血の可能性のある手術，長時間手術は延期をお願いする。その他の予定手術は，各診療科の判断にまかせる。
 - (ケ) ME センター：院内で空いている人工呼吸器は 5 台。
 - (コ) ICU：空床 5 床を確保している。他地域からの受け入れを表明するが，相談の上決定。
 - (サ) 病棟：100 床程度の空床を確保。
 - (シ) 薬剤：当面の薬剤の在庫はある。外来患者の処方について長期処方回避してほしい。周辺の調剤薬局の在庫見通しについて調査を行う。
2. 午後 6 時 「第 4 回 東日本大震災緊急対策本部（太平洋沖地震附属病院対策本部）対策会議」開催（14 日以降の体制も含めて）
 - (ア) 医療県内のインフラの回復状況。マグニチュード 7 以上の余震の可能

- 性 3 月 16 日までに 70%ありとの予報（実際はなかった）。
- (イ) 3 月 14 日の外来は通常体制で行う方向で調整している。
 - (ウ) 高度救命救急センター長報告
 - ①第 1 次 DMAT 隊宮古での活動終了。第 2 次派遣隊と交代。
 - ②ヘリコプター搬送患者なし。
 - ③救急患者受診 2 名（通常患者）、高度救命救急センター空床 3 床。
 - (エ) 放射線部：通常業務（当直＋待機 1 名）。停電時はポータブルのみ、フィルムでの対応。14 日から PET は対応不可、RI 検査は不確実。放射線治療は予定患者のみの対応。
 - (オ) 検査部：通常対応。停電時は手書き伝票で申し込みと報告。停電時は高度救命救急センター、緊急検査を優先。
 - (カ) 給食：献立の変更が必要だが、通常対応可能。
 - (キ) 輸血部：RCC, FFP は対応可能。血小板は予約のみで、早めの予約が必要。追加は東京からの取り寄せ。スぺンダー採血は可能だが、供血者の確保が必要。
 - (ク) 手術室：大量の輸血を要する可能性のある手術を 3 件延期。その他は予定通り実施。臨時手術は対応可能。
 - (ケ) 透析室：通常対応。どうしても必要な場合は 10 床の対応を考慮。
 - (コ) 中央材料部：通常対応。
 - (サ) 医療情報部：停電時でも外来の対応可能（病院長より）。
 - (シ) 薬剤部：当面は備蓄で対応可能。外来処方は長期投与を避けてほしい。院外処方は調剤薬局で対応可能。
 - (ス) 集中治療部：空床 4 床確保。ネットワークに受け入れ可能を表明。
 - (セ) ME センター：人工呼吸器成人用 5 台、小児用 6 台確保。必要なら業者から 3 台を追加可能。

14 日 11 時 1 分、福島第一原発 3 号機建屋で水素爆発

東日本大震災弘前大学医学部附属病院事務部記録

【主な時系列（平成23年3月分）】

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
3月11日(金)	14:46		地震発生。弘前震度4
		事務部	執務室及び会議室のドアを開けて避難経路確保。
	14:48		院内全部署停電。
	15:05	事務部	高度救命救急センターへ被害状況を確認。
		高度救命救急センター	非常電源で対応、自家発電が動いていない。
		事務部	事務職員、各部署の被害状況の確認のため院内巡回。
	15:10	施設環境部本町地区施設室	自家発電の確認をする。
		事務部（総務課）	病院長へ連絡。医療情報部のシステムダウン。 高度救命救急センターは停電有り。被害なし。
			手術部、ICUの被害状況を確認。
	15:12	第2病棟2階	被害なし。
		第2病棟3階	入浴中の患者さんがいたが、被害なし。
	15:15	施設環境部本町地区施設室	自家発電確認中。
		第2病棟5階	被害なし。
		第2病棟4階	一部電気が消えている。
			テレビカード自販機センサーが鳴り続けている。
		手術部	5件手術中。被害なし。
		第2病棟6階	被害なし。
		第2病棟7階	被害なし。
		ICU	個室A・B・Hで断水。
			患者さんの被害なし。
		公用車車庫	被害なし。
	15:20	第1病棟5階	患者1名地震前から不明。
			その他の患者被害なし。
		第1病棟2階	地下の患者さんをRIに誘導。
			機械の誤作動なし。
			放射線部、停電。看護師長対応中。
		栄養管理部	エレベーターが動かない状態だが非常電源で患者さんへの夕食は出せる状態。
		第2病棟8階	電源DOWN、患者OK。トイレ半分使用不可。エレベーター動かない（人は入っていない）。
		第1病棟4階	異常なし。
		第1病棟7階	異常なし。
		第1病棟8階	異常なし。
	外来診療棟5階・4階・3階	異常なし。	
	15:25	中央診療棟全階	血液浄化療法室、水が止まって透析不可1名あり。
現在医師対応中。			
外来診療棟2階・1階・地下1階		異常なし。	
外来診療棟地下2階		施錠されていたため未確認。	
第1病棟6階	異常なし。		

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
		第1病棟3階	異常なし。
	15:30	施設環境部	病院全体自家発電2日間持つ。 67時間持つことを確認。
		放射線部	エレベーター使用不可のため、検査を受けに来た患者1名（心疾患）地下1階で待機中。
	15:34	事務部	本学文京町地区への学内内線電話使用不可。
		事務部	病院長へ現在の状況についてメールで連絡。
		事務部	本学事務局へ現在の状況について連絡 （千葉事務部長から江羅総務部長へ）。
		栄養管理部	患者さんへの給食供給可能の報告有り。
		施設環境部本町地区施設室	自家発電機67時間持つことを確認。
	15:40	事務部	青森県医療薬務課からDMAT要請あり。 高度救命救急センターへ連絡。
		事務部	五所川原市立西北中央病院から救急患者の受入を行っているか電話有り。高度救命救急センターへ電話を転送。
	15:50	事務部	青森県医療薬務課へDMAT待機要請について現在出動準備中であることを連絡。
	16:05	施設環境部本町地区施設室	水使用復旧した。手術部・ICU・高度救命救急センター・血液浄化療法室等の緊急を要する部署へ連絡する。
	16:20	事務部	青森県医療薬務課からDMAT派遣要請あり。 保嶋副病院長から出動許可を得る。
	16:25	高度救命救急センター	矢口高度救命救急センター助教、千葉高度救命救急センター医員、木村医事課高度救命担当係長等がDMATとして選抜。 公用車車庫へ使用について連絡。
	16:40	事務部	東奥日報から本院の被害状況について照会有り、黒田総務課長から説明。
	16:43	高度救命救急センター	DMAT派遣決定（矢口高度救命救急センター助教、千葉高度救命救急センター医員、山内看護師、畑井看護師、木村医事課高度救命担当係長）。
	16:45	事務部	青森県医療薬務課から地震による被害に関し、外来患者、入院患者の状況、手術の機器の影響について問い合わせ有り、被害なしと報告。
	17:00	高度救命救急センター	木村医事課高度救命担当係長からDMAT出発時間を18時30分としてEMIS入力依頼。
	17:15	事務部	手術部の状況について、15:00現在5件、1件終了1件追加となり17:15現在5件と報告あり。
	17:35	施設環境部本町地区施設室	重油は2日分と報告あり。
	17:40	事務部	青森県医療薬務課赤石主査からDMAT派遣の確認。
		事務部	弘前市健康推進課小田課長から連絡有り。本日の輪番病院で対応できない場合は本院で対応してもらえないかとの相談あり。高度救命救急センターへ連絡。 医師がホットラインで電話すればその上で受入を検討するとのこと。

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
	17:55	施設環境部本町地区施設室	暖房用のお湯ストップ。外来診療棟はファンが回らないため風が出ない。
	18:00	施設環境部本町地区施設室	災害時優先電話について連絡有り。
	18:00	事務部	防災ヘリ受入予定に伴い、ヘリポート、エレベーターについて施設環境部へ確認依頼。
	18:10	事務部	平川市から患者受入の可否について問い合わせ有り。高度救命救急センターへ電話を転送。
	18:12	事務部	ヘリポート使用できるか施設環境部へ確認。
	18:30	医学研究科	臨床研究棟にある冷凍庫を稼働させるためガソリン借用の依頼有り。 公用車車庫のガソリン供与（千葉事務部長に確認済み）。
	18:35	福田副病院長	高度救命救急センターの医師が足りない場合、診療科の応援依頼を病棟を通じて医師へ連絡。 看護部にも連絡するよう指示有り。 保嶋副病院長へ福田副病院長が病院長代行として院内を統括することについて連絡し了承された。
	18:50	事務部	福田副病院長から手術部の滅菌装置が使えないため、材料部の滅菌装置を使用したいとの連絡あり。
	19:00	事務部	保嶋副病院長から総務課へしばらく院内へ待機するとの連絡有り。
	19:10	施設環境部本町地区施設室	弘前市水道部が大丈夫であれば、本院の上下水道使用可、トイレも使用可との報告有り。
	19:25	事務部	青森県医療薬務課から広域搬送患者の受入可能か厚生労働省より確認の依頼あったとのこと。高度救命救急センターへつないだ。
	19:38	事務部	早川文部科学省大学病院支援室病院第一係長から DMAT 派遣の状況について千葉事務部長に問い合わせ有り。
	19:45	福田副病院長	総務課に、透析室が非常電源ではなかったため、止まっているので対応について ME と施設で話し合っていること、ICU は熱がこもって暑くなるのが心配であること、輸血部技師 3 名、検査部技師 3 名待機していること、滅菌装置は業者が来ることになったこと、材料部看護師とも連絡が取れたことについて連絡有り。
	21:45	施設環境部本町地区施設室	18:00 頃東北電力から電力遮断機について確認の連絡有り。 復旧のメドたらず。
	22:20	事務部	青森県医療薬務課から DMAT の状況について照会有り。 1 チーム出動したこと及び現在岩手医科大学から岩手県立二戸病院へ移動していることについて報告。
	23:35	事務部	青森県医療薬務課再度 DMAT の状況について照会有り。
	23:40	事務部	本院 DMAT から他のチームの状況について青森県医療薬務課から情報入手の依頼有り。
		事務部	本院 DMAT へ青森県立中央病院は 1 チームが岩手県立二戸病院に八戸市が岩手医科大学に 1 チーム派遣していること、

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等	
			その他の青森県のDMATは出動不可、青森県庁のEMISシステムがDOWNしていること、本院DMATの第2隊の派遣については青森県に要請が来ていないことを連絡。	
3月12日(土)	0:15	DMAT	高度救命救急センターへ連絡有り。	
			岩手県立二戸病院にて久慈市より搬送されてくる患者を朝方診る予定となっている。	
	1:53	NHK ラジオ	一酸化炭素中毒の件で浅利高度救命救急センター長のコメント放送有り。	
	5:50	事務部	青森県医療薬務課よりDMAT状況について確認有り。	
	5:50	施設環境部本町地区施設室	福田副病院長に連絡有り。	
			5分で送電可。送電は順次行う。後に院内放送。停電復旧。	
	6:15	事務部	花田病院長へ電気復旧連絡。	
	6:16	事務部	福田副病院長へ花田病院長に電気復旧した旨伝えたことを連絡。	
	6:40	福田副病院長	ヘリポート雪解けの影響について早急に点検するよう指示有り。	
			施設環境部本町地区施設室から高度救命救急センターへ連絡する。	
	7:00	福田副病院長	高井放射線部長へ高度救命救急センターへ協力して欲しいことを連絡する旨指示有り。	
			高井放射線部長へ連絡つかず藤森診療放射線技師長へ連絡。	
			①8:30に集合し会議を行う。	
			②フィルムを使う。	
				浅利高度救命救急センター長へ報告済み。
	7:10	事務部	弘前市医師会へ連絡。	
各医療機関の体制についてはそれぞれに任せるとのこと。				
対応について8:30-9:00に検討。				
7:10	事務部	黒石病院, 6:00 電気復旧, システムチェック		
		8:00 出勤し会議予定だが通常通りとはいかないかもしれない。		
		弘前市立病院, 連絡とれず。		
			水沼病院長補佐, 藤病院長補佐, 保嶋副病院長へ現在の状況を連絡。	
7:25	黒田総務課長	藤病院長補佐へ連絡。		
		6:00頃電気が復旧した。放射線部へ高度救命救急センターへの協力体制を依頼。		
		8:30に集合して打ち合わせ。		
		水沼病院長補佐へ連絡。		
			同上報告。	

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
	7:57	事務部	早川文部科学省医学教育課第一係長より、被ばく医療施設として医師派遣と患者受入の可能性有り、受け入れ人数と医師派遣の可否について教えて欲しい旨連絡有り。
	7:57	事務部（経理調達課）	おにぎり手配。
	8:10	事務部	患者受入相談有り。 一酸化炭素中毒6名→高度救命救急センターへ 2名→小野病院，大館市立総合病院へ。 福島県で十数人被ばくした人がいるらしいとの未確認情報。 文部科学省へ連絡。 本院の受け入れ可能体制としては、重傷1名，中等3-4名。
	8:10	事務部	蛭名青森県医療薬務課総括主幹・サブマネージャーへ病院の状況について（特に大きな被害はない旨）報告。
	8:13	事務部	蛭名青森県医療薬務課総括主幹・サブマネージャー一酸化炭素中毒6名受け入れ。
	8:23	事務部	弘前市市民生活対策本部（工藤企画課主事）へ連絡。 弘前市立病院は7:20 電気復旧予定。その後未確認。
		事務部	黒石病院，6:00 電気はOK。8:00 出勤し会議予定。 弘前市立病院，連絡とれず。
	8:30	事務部	東日本大震災緊急（太平洋沖地震附属病院）対策本部の設置について 各部署に配付。 （薬剤部，高度救命救急センター，病理部，MEセンター，検査部，輸血部，医療情報部，放射線部，ICU，リハビリテーション部，手術部，周産母子センター，栄養管理部） 光学医療診療部，材料部には配付できず。
	8:45	事務部	東日本大震災緊急（太平洋沖地震附属病院）対策本部の設置について院内放送を防災センターに依頼。 （8:49 FAX，8:58 院内放送）
	9:55	事務部長	江羅総務部長へ状況報告。 物的，人的被害なし。5:50 通電。 9:00 第1回東日本大震災緊急（太平洋沖地震附属病院）対策本部対策会議開催→患者給食14日夕方までは出せる。 DMAT 派遣→文部科学省へ報告。浅利高度救命救急センター長から連絡済み。
	10:07	医療情報部	医療情報部へ確認。 医療情報部のシステム復旧。オーダーリングも通常通りできるとのこと。
	11:05	高度救命救急センター	受付より，駐車券の件で連絡あり。 停電中に駐車場に駐車券なしのまま入庫した。今朝出庫する際に電気が復旧しており，駐車券なしででられなかったため，患者さんは駐車券を紛失した扱いで出庫。

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
			<p>こういう場合どう対応したらよいかとのこと。</p> <p>施設環境部本町地区施設室へ確認。ゲートについてはこれから検討。</p> <p>高度救命救急センターと連絡をとってもらったこととした。</p> <p>払ってしまったお金については、弘仁会で返金手続き可能とのこと。</p>
	11:20	高度救命救急センター	ドクターヘリ、八戸市から 12:00 到着予定。
	12:32	高度救命救急センター	ドクターヘリ到着。
	12:05	事務部長	<p>玉上文部科学省大学病院支援室長より下記事項確認の連絡有り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMAT 派遣について ・被害状況 ・薬のストックについて ・輸血→大量出血のケースがあれば厳しいと回答
	14:00	高度救命救急センター	ドクターヘリ、八戸市から 14:00 発。
	14:20	高度救命救急センター	ドクターヘリ到着。
	15:15	高度救命救急センター	<p>防災ヘリ青森からくる。時間未定。</p> <p>→後に、八戸市よりのドクターヘリと訂正あり。</p>
	15:33	事務部	<p>国立病院機構八戸病院及川院長より花田病院長へ要請依頼。</p> <p>レスピレーター装着患者 33 名いる。八戸市内は停電で、現在病院は自家発電で対応している。</p> <p>しかし、重油が 16 日で切れる状態なので、もし、このままの状態が続いた場合患者受け入れを要請したい。</p> <p>何名の受け入れが可能か。その際は、状況を見て 15 日に受け入れ依頼の連絡をしたいとのこと。</p> <p>福田副病院長不在のため、保嶋副病院長へ連絡。状況はわかったが、福田副病院長の判断を仰ぐこと。</p>
	15:35	花田病院長	現在羽田到着。最終便確保した旨連絡有り。
	15:55	事務部	<p>早川文部科学省大学病院支援室病院第一係長より。東北大学と連絡がとれた。食料が底をつきそうで、支援できないか。</p> <p>本院も今のところ 14 日まで給食をだせそうな状態を説明。</p>
	17:00	事務部	<p>玉上文部科学省大学病院支援室長より。</p> <p>被ばく用安定ヨウ素剤の在庫について確認の電話あり。</p> <p>浅利高度救命救急センター長に確認。</p> <p>安定ヨウ素剤は 1000 錠。さらに、セシウムに対する解毒剤プルシアンブルーが 1 箱 (30 セット) 六ヶ所村より運ばれてくる。18:00 到着予定。</p>
	17:10	事務部	早川文部科学省大学病院支援室病院第一係長へ報告。
	17:36	事務部	第 2 回東日本大震災緊急 (太平洋沖地震附属病院) 対策本部対策会議開催の院内放送依頼。

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
	17:45	高度救命救急センター	ドクターヘリ，到着。
	18:00	東日本大震災緊急（太平洋沖地震附属病院）対策本部	第2回東日本大震災緊急（太平洋沖地震附属病院）対策本部対策会議
	18:47	事務部	奈良岡総務部総務課長より連絡有り。
			本学の対応について病院長室で検討したい。明日9:30開始。
			遠藤学長，佐藤医学研究科長，花田病院長，浅利高度救命救急センター長，福田副病院長，江羅総務部長
20:48	事務部	陸奥新報から被ばく患者受入についての電話取材。	
3月13日（日）	8:40	東日本大震災緊急（太平洋沖地震附属病院）対策本部	交換局へ院内放送依頼。
	8:45	東日本大震災緊急（太平洋沖地震附属病院）対策本部	院内放送。
	9:00	東日本大震災緊急（太平洋沖地震附属病院）対策本部	第3回東日本大震災緊急（太平洋沖地震附属病院）対策本部対策会議
	10:00	事務部	病院長室にて今後の対応検討会議 （遠藤学長，藁科副学長，江羅総務部長，佐藤医学研究科長，對馬保健学研究科長，花田病院長，保嶋副病院長，福田副病院長，浅利高度救命救急センター長，高井放射線科科長，千葉事務部長 陪席：奈良岡総務部総務課長，古舘総務部総務課課長補佐，黒田総務課長，大日向経営企画課長，針金経理調達課長，北脇医事課長，上野施設環境部長）
	12:25	事務部	本院の外来診療状況についての報道依頼をNHK青森支局へ。
	12:30	事務部	江羅総務部長より電話有り（被ばく医療への積極的対応）。
			文部科学省大学病院支援室よりどのくらい受け入れまたは派遣可能か問い合わせ有り。
			江羅総務部長から浅利センター長に確認。菊池文部科学省大学病院支援室病院第二係長へ電話したとのこと。
	13:25	事務部	江羅総務部長より電話有り（放射線サーベイへの積極的対応）。
			看護要員，救護要員として看護師の派遣可能人数を砂田看護部長に確認。
4名程度との回答を得た。			
13:35	泌尿器科	工藤泌尿器科助教より。	
		透析器材の当院の状況と，近隣病院の透析受入状況について報告があった。	
14:15	薬剤部	薬の供給状況，問屋に照会したが不明。本日，薬納入業者を集め，大日向経理調達課長と共に確認する。	

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
	14:30	事務部	平野文部科学省国立大学法人支援課課長補佐より電話有り。
			被ばく医療受入れ可能性について話があったので、遠藤学長の意向を受けて、本学の江羅総務部長から文部科学省大学病院支援室に積極的に受け入れる用意がある旨を伝えていると平野文部科学省国立大学法人支援課課長補佐へ回答。
	14:35	東日本大震災緊急(太平洋沖地震附属病院)対策本部	上記、泌尿器科、薬剤部からの報告を福田副病院長へ報告。
	17:40	東日本大震災緊急(太平洋沖地震附属病院)対策本部	院内放送。
	18:00	東日本大震災緊急(太平洋沖地震附属病院)対策本部	第4回東日本大震災緊急(太平洋沖地震附属病院)対策本部対策会議
	19:00	東日本大震災緊急(太平洋沖地震附属病院)対策本部	会議終了。
	19:40	DMAT	現在、盛岡市内に入った。ガソリン給油場所を探している。
	21:00	DMAT	現在、岩手山サービスエリアにて、給油。 売店、ガソリンスタンド共に24時間営業。ガソリンは現在緊急車両優先。
	22:04	事務部	DMAT 交替について文部科学省へ報告。
3月14日(月)	7:30	DMAT (第2次隊)	本院出発。
	8:30	DMAT (第2次隊)	秋田県小坂付近との連絡有り。
	9:00	病院科長会	臨時病院科長会を開催。
		事務部	病院内の教職員の安否確認。 総務課で手分けして電話連絡。
	11:07	事務部	節電の徹底について院内へ周知。
	11:50	DMAT (第2次隊)	岩手県宮古市へ入る。
	12:15	文部科学省医学教育課	福島県への被ばく状況調査チーム派遣要請。
	12:30	派遣要請会議(病院長室)	派遣決定。 佐藤医学研究科長、對馬保健学研究科長、江羅総務部長、花田病院長、砂田看護部長、浅利高度救命救急センター長、藤森診療放射線技師長、床次被ばく医療総合研究所教授、細田保健学研究科助教、門前保健学研究科助教、小山内保健学研究科助手、柏倉保健学研究科教授 陪席：村市医学研究科事務長、山田保健学研究科事務長、千葉事務部長、事務部各課長
			DMAT 岩手県立宮古病院到着
	13:00	福田副病院長	青森県内各医療機関の開設状況不明。 医師会からきたら各診療科へ周知するよう指示有り。
	16:36	DMAT (第2次隊)	高度救命救急センターより。 医師・看護師は救急室で処置中、調整員は連絡調整、救急入口対応中。

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
	20:24	文部科学省医学教育課	被ばく医療調査携行物品等リスト送付。
	20:42	文部科学省医学教育課	被ばく状況調査チーム派遣中止。
	21:08	事務部	本院被ばく状況調査チーム該当者へ連絡。
3月15日(火)	8:17	事務部 (総務課広報企画担当)	青森放送弘前支社より。被ばく状況調査チームの出発時間についての問い合わせ有り。
			出発時間がわかったら幹事社へ連絡する。
	8:55	事務部	被ばく状況調査チーム本日出発、日程の予定発表。
	9:20	高度救命救急センター	被ばく状況調査チームに持たせる安定ヨウ素剤を提供。
	9:55	総務課	総務課より被ばく状況調査チームの携行物品運ぶ。
	10:15	被ばく状況調査チーム	荷物を積み込みバスにて本部へ。
	11:30	被ばく状況調査チーム	本学出発。
	11:48	DMAT (第2次隊)	高度救命救急センターより報告有り。
			調整員はDMAT 現地本部にて広域搬送の連絡調整
			医師・看護師は10:06 宮古ヘリポート出発 自衛隊ヘリにて救護支援。
			本日日没後、会議にて今後の予定決定。(浅利高度救命センター長より延期するとしても1日が限度)
	12:15	高度救命救急センター	原子力安全協会より要請有り。
			浅利高度救命救急センター長へ福島県庁における放射線管理の統括指揮の依頼。
			研修医西崎医師も同行予定。
	12:15	文部科学省大学病院支援室	清水文部科学省大学病院支援室専門職より電話あり。被ばく状況調査チーム派遣について。
			政府・文部科学省の判断ではなく、文部科学省大学病院支援室の判断としてインター待機依頼。
			移動中の派遣者に連絡。連絡のついた旨を文部科学省大学病院支援室清水氏へ報告。
12:25	花田病院長	了解。高度救命救急センターのセンター長、副センター長ともに不在になるため、後のセンターの体制を整えて報告すること。	
12:28	事務部	東北電力計画停電の第一報あり。	
12:55	総務部	江羅総務部長より連絡あり。被ばく状況調査チームは現在花輪サービスエリアに待機。	
		床次被ばく医療総合研究所教授は浅利高度救命救急センター長に同行する予定。	
		文部科学省、遠藤学長、佐藤医学研究科長、對馬保健学研究科長、花田病院長へ連絡。	
13:00	計画停電対策会議	花田病院長の緊急招集。小会議室にて。	
		花田病院長、副病院長、病院長補佐、廣田麻酔科科長(櫛方麻酔科講師代理)、早狩薬剤部長、羽田医療情報部長、事務部	
14:10	事務部 (総務課)	総務課係長会議	
		15時から緊急対策会議開催。院内放送する。弘前市医師会に対応を問い合わせる。	

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
			弘仁会にも連絡。
	14:20	被ばく状況調査チーム	文部科学省より待機の指示有り。
	14:45	東日本大震災緊急(太平洋沖地震附属病院) 対策本部	院内放送。(緊急 東日本大震災緊急(太平洋沖地震附属病院) 対策本部対策会議開催)
	15:00	東日本大震災緊急(太平洋沖地震附属病院) 対策本部	緊急 東日本大震災緊急(太平洋沖地震附属病院) 対策本部対策会議(第5回)
	16:33	被ばく状況調査チーム	本学到着。
	17:00	DMAT(第2次隊)	撤収。現在、帰路についている。 岩手県立宮古病院は一般の医療支援に切り替え。
	18:27	文部科学省	被ばく状況調査チーム派遣について待機の解除。本日の出発はなし。
	18:50	東日本大震災緊急(太平洋沖地震附属病院) 対策本部	緊急 東日本大震災緊急(太平洋沖地震附属病院) 対策本部対策会議(第5回)の議事要旨院内周知。
	21:25	DMAT(第2次隊)	本院高度救命救急センターへ到着
3月16日(水) 計画停電 (予定) (9時~12時)	8:20頃	電話交換	計画停電中止の院内放送。
			計画停電は中止だが、外来診療は予定通り休診の旨、院内放送。(院内で混乱が生じたため。)
	8:50	花田病院長	停電、地震、休診、診療関係の院内放送は病院長の許可を得てから放送するように指示有り。 電話交換に伝えた。
	9:05	弘前大学総合情報処理センター	学内のウェブ及びサーバは11時頃復旧予定との連絡有り。
	9:45	電話交換	計画停電中止により、院内の電源が通常通り使用できる旨院内放送。(院内より機器等の電源について問い合わせが多くあったため。)
	11:20	文部科学省大学病院支援室	玉上文部科学省大学病院支援室長より千葉事務部長に連絡あり。医師派遣に係る連絡担当者について。 メールサーバまだ復旧していないため、FAXにて回答。
	12:15	事務部	青森県医療薬務課より宮城県への医師等の派遣についてFAXあり。 黒田総務課長より花田高度救命救急センター副センター長へ送付。
	14:00	被ばく状況調査チーム	本院を出発。
	14:10	被ばく状況調査チーム	本学を出発→保健学研究科経由(14:30) 今後の予定。 ~19日(土)作業 19日深夜もしくは20日(日)未明に弘前市着予定。
		17:00	緊急病院運営会議(小会議室)
	19:10	事務部	3月18日(金)の外来診療の実施について、緊急病院運営会議の結果、通常通りの診療となる旨院内へ周知。(メール及び用紙配付)
3月17日(木)	8:00	被ばく状況調査チーム	福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部(本日の予定)

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
			8:45 頃 福島県庁, サンプル調査, 避難所 (ビッグパレットふくしま) へ分かれて業務。
	9:00	総務課	18日(金)の外来診療について各診療科(外来・病棟), 各中央診療施設等に電話で連絡。(メール, 用紙配付済みであるが念のためとの指示有り。)
	10:05	皮膚科	休診するために様々な変更をして修正をして何十名もの患者さんに連絡をしたところなのに急な変更は大変混乱する, 困る。との苦情あり。総務課長対応。
	12:10	麻酔科	廣田麻酔科科長より黒田総務課長へ相談。 岩手医科大学へ医師派遣したい。花田病院長の許可が取れてから人員を集める。
	13:11	事務部	放射線量測定の入力を高度救命救急センターでやることとなった。 医事課へは花田病院長より連絡。
	15:55	高度救命救急センター	花田高度救命救急センター副センター長より要望有り。 ・医師派遣に係る連絡担当者になっているが, 病院全体の方針として明確にして欲しい。(砂田看護部長, 早狩薬剤部長を含む何らかの会議等で話してもらえないか。) ・医療ニーズの情報が欲しい。 ・行く体制はどのようにするのか。(チームか個人か等) 現在, 脳神経外科, 循環器内科, 呼吸器内科, 腎臓内科, 呼吸器外科, 心臓血管外科, 麻酔科より派遣希望有り。
	16:00	派遣要請会議 (病院長室)	被ばく状況調査チーム第2陣について 佐藤医学研究科長, 對馬保健学研究科長, 江羅総務部長, 花田病院長, 高井放射線科科長 陪席: 山田保健学研究科事務長, 千葉事務部長, 黒田総務課長, 三橋総務課課長補佐
	17:01	文部科学省	文部科学省医学教育課より岩手県からの医師派遣要請について連絡有り。 高度救命救急センターを支援するため, 連絡業務は総務課でとりまとめるように花田病院長より指示有り。 院内に周知。
	19:20	整形外科	岩手県立遠野病院の整形外科に医師を2名派遣したい。藤整形外科科長からは了解を得ている。 →岩手県遠野病院からの派遣要請であれば, 病院の業務としての派遣が可能。 藤整形外科科長より花田病院長に説明して許可を得てもらうように説明した。

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等			
3月18日(金)	9:30	整形外科	岩手県立遠野病院より医師の派遣について依頼文書有り。 病院の職務として派遣可能。医師2名本日10時頃出発。			
	10:00頃	高度救命救急センター	八戸市へヘリコプターで患者搬送するとの連絡有り。			
	10:20	高度救命救急センター	天候不良のため(八甲田山付近)ヘリコプターが来院できないとの連絡有り。			
	11:05	文部科学省	文部科学省医学教育課より人員の派遣について協力依頼がきており、至急院内周知。			
	11:08		消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科科長より, 岩手県への医師派遣について。 岩手県では岩手医科大学と岩手県立中央病院で5, 6人のチームをくみ, 巡回している状況。 非常勤の医師が行く場合の給与, 交通手段についてどうなるのが不安である。 →緊急車両の手続きすれば, ガソリンは優先してくれるスタンドがある。 病院の職務として派遣されることになるので, 給与も通常どおり。 岩手県の状況を考えると今回は文部科学省に1名と回答する。		
				11:41	消化器内科, 血液内科, 膠原病内科	岩手県への派遣について来週まで回答待つて欲しい。
				11:53	電話交換	放射線量測定希望者からの連絡があった場合の対応についてをお知らせ。
				11:58	事務部	各診療科等に「本院における放射線量検査(サーベイ検査)の実施について(お知らせ)」をメールにて周知。
	12:14	神経科精神科	青森県立つくしが丘病院にも聞いてみたが今の状況での派遣は厳しい。			
	12:17	産科婦人科	サーベイ検査の件を近隣の分娩取扱い施設に伝えたいとのこと。→黒田総務課長より回答(予約制になっている)。			
	12:55	循環器内科, 呼吸器内科, 腎臓内科	循環器内科, 呼吸器内科, 腎臓内科科長より文部科学省に医師派遣について循環器内科医師2名を1週間交代で派遣できる。			
	13:00	手術部	3月22日(火)以降の手術に関する説明会			
			各診療科代表, 総務課, 経理調達課, 医事課			
	13:02	脳神経外科	医師派遣5人可能。			
		高度救命救急センター	医師2名, 事務1名可能。			
	14:40	事務部	文部科学省への窓口を一本化するため医師派遣についての回答を総務部人事課よりすることとなった。これまでに回答の集まった分について検討し, 花田病院長の指示により高度救命救急センターについてはセンター長の不在な時期に副センター長も不在とならないように, 又, 事務も必要ことから医師1名のみ可能と判断した。			

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
	15:45	事務部	文部科学省への人員の派遣について、総務部人事課へ回答。 本部で必要な部分を変更して回答することのこと。
	16:25	産科婦人科	文部科学省の医師派遣について産科婦人科より2, 3人派遣可能。
	17:40	整形外科	文部科学省の医師派遣について火曜の医局会議で議題としたい。 →締め切り後も派遣希望があればその都度本部にも報告したい。
		事務部	3連休に備え、午前・午後2名ずつの体制をとることとした。 総務課総務担当席のメールをつけたままにしておくこと。
		東北電力	東北電力ホームページにて3月19日(土)～計画停電実施予定なし。
3月19日(土)	8:00	被ばく状況調査チーム	福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部(本日の予定)
			8:30 福島県立川俣高等学校で業務。
			早ければ14:00。業務終了後、福島県立川俣高等学校発。
			福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部ミーティング後弘前市へ。
		文部科学省	文部科学省医学教育課より宮城県からの医師派遣要請について昨夜メール有り。 関係各部署へ連絡し、派遣について東北大学病院に連絡したが、今回は条件が合わず、派遣なしとなった。
	12:20	被ばく状況調査チーム	福島県立川俣高等学校発。まちづくりセンターでサーベイランス開始。
	14:00	被ばく状況調査チーム	まちづくりセンター発。旧丸森町立筆甫中学校でサーベイランス開始。
	17:20	被ばく状況調査チーム	旧丸森町立筆甫中学校発。弘前市へ。
	18:00	被ばく状況調査チーム	浅利高度救命救急センター長、西崎研修医弘前市へ到着。
	19:00	整形外科	岩手県立遠野病院より本院へ到着。
3月20日(日)	1:15	被ばく状況調査チーム	本学到着。
3月21日(月)	8:00	被ばく状況調査チーム	福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部 ミーティング。
			郡山市総合体育館着後、サーベイランス検査。
	12:00	文部科学省大学病院支援室	玉上文部科学省大学病院支援室長より電話有り。現在の病院の問題点について現状の確認(重油、医薬品、材料、手術等)。
	18:20	被ばく状況調査チーム	郡山市総合体育館発。
	20:00	被ばく状況調査チーム	福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部 ミーティング。

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等		
3月22日(火)	8:30	被ばく状況調査チーム	サテライトかしま サーベイランス開始。		
	10:05	文部科学省大学病院支援室	玉上文部科学省大学病院支援室長より、本院の状況確認の電話があった。		
	10:22	事務部	被ばく状況調査チームからの現地報告の取扱いについて確認。 院内へは公開しない。 院内でも限られた中でのみ取り扱うこととする。 高井放射線科科長へは江羅総務部長より伝えてもらった。		
	13:40	被ばく状況調査チーム	サテライトかしま発。		
	16:00前	被ばく状況調査チーム	福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部着。待機。		
	17:00	派遣要請会議(病院長室)	被ばく状況調査チーム派遣について佐藤医学研究科長、対馬保健学研究科長、江羅総務部長、花田病院長、高井放射線科科長、砂田看護部長陪席：山田保健学研究科事務長、千葉事務部長、黒田総務課長、三橋総務課課長補佐		
	20:00	被ばく状況調査チーム	福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部 ミーティング。		
	3月23日(水)	8:00	事務部	北海道大学より支援物資届く。	
被ばく状況調査チーム			福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部 ミーティング。		
8:20		被ばく状況調査チーム	福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部発。 川俣町保健センター サーベイランス開始。		
10:55		総務部	今総務部人事課係長より。 石巻市から医療チームの派遣要請があった。 医師及び看護師を選出して欲しい。 ・どこの病院かははっきりしていない。 ・期間は一ヶ月くらい。(交替可) ・医師1名及び看護師1名(可能であれば看護師2名)。 ・医師は内科系・感染症科・小児科が特に要望。 ・いつからとはいっていないが、早いほうが望ましい。 石巻への報告は総務部を通して東北大学に回答。 花田病院長、千葉事務部長と相談の上、特に要望のあった診療科長に問い合わせる。 長期になりそうなことから、宿泊先を探す。 必要物品についてリストアップする。 1週間交替程度でないと派遣しにくい。		
			11:00	整形外科	岩手県立遠野病院へ医師1名(岩崎弘英整形外科助教) 出発。
			11:08	呼吸器外科, 心臓血管外科	八戸市にボランティアで医療支援に行くとの報告有り。
			11:50	文部科学省国立大学法人支援課	手島文部科学省国立大学法人支援課課長補佐より被ばく状況調査チーム派遣について 出張扱いか→公用で。車は公用車。 経費は大学で負担と回答。

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等		
	14:31	小児科	石巻の派遣について院内も落ち着いた状態でないので、今すぐというのは非現実的である。院内の診療が回らなくなる可能性があるため今回は見送る。		
		内分泌内科, 糖尿病代謝内科, 感染症科	派遣は難しい。		
		消化器内科, 血液内科, 膠原病内科	詳しい条件が不明。はっきりしてから検討したい。		
		看護部	日程がはっきりしないと派遣できるか決めかねる。候補者の中には異動や、退職の人も含まれているので、はっきりして欲しい。 2名派遣できるように調整する。		
	15:40	総務部	今総務部人事課係長より。 石巻市の派遣先について、石巻赤十字病院になる。		
			災害対策本部へつないでもらい事情を話し、院内宿泊の件など先生方で話してもらおうほうがスムーズと東北大学病院より話があったとのこと。		
	17:00	被ばく状況調査チーム	川俣町保健センター サーベイランス終了。		
	19:10	被ばく状況調査チーム	福島西インター 弘前市へ。		
			医師は循環器内科, 呼吸器内科, 腎臓内科より越前助教, その後消化器内科, 血液内科, 膠原病内科と交互に医師派遣。		
			看護師, 事務職員は未定。		
ホテルを一カ月予約し, 物品は24日中にそろえる。 25日出発予定。					
3月24日(木)	8:20	看護部	石巻赤十字病院への派遣人員決定。 第2病棟7階, 第2病棟8階看護師 石巻赤十字病院に連絡したところ, 医師が充足しているとのこと。 今総務部人事課係長をとおして東北大学に確認。 派遣するかどうか一時中止。		
			12:00	被ばく状況調査チーム	本学出発。
			16:20	呼吸器外科, 心臓血管外科	26日(土)に渡辺健一呼吸器外科, 心臓血管外科助教が八戸市の避難所に個人的にいくとの報告あり。
			17:43頃	文部科学省大学病院支援室	島居文部科学省大学病院支援室室長補佐より現状確認の電話あり。 A重油がタンクローリー2台分入ったと報告。 石巻赤十字病院への医師派遣についても報告。
	18:40	事務部			石巻赤十字病院への医師等の派遣について記者へおしらせ。
	19:30	被ばく状況調査チーム	福島県自治会館 緊急被ばく医療調査本部 到着。		
	20:40	被ばく状況調査チーム	ミーティング終了後ホテルへ。 情報がはっきりしないが, 花田病院長の判断により石巻赤十字病院へ派遣することが決定。 25日8:30~9:00に出発予定で準備。		

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
3月25日(金)	8:00	被ばく状況調査チーム	福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部 ミーティング。
	8:55	石巻医療支援チーム①	本院, 公用車にて出発。
	9:50	石巻医療支援チーム①	荷物が入りきらなかったため2台目出発(公用車)。
	11:00	放射線測定派遣者	ビッグパレットふくしま到着後サーベイランス開始。
	14:20	石巻医療支援チーム①	1台目石巻赤十字病院に到着後, ミーティング。
			本日18時及び明朝7時にミーティングを行い, 派遣場所を決める予定。
	15:40	石巻医療支援チーム①	2台目石巻赤十字病院に到着。
	16:30	石巻医療支援チーム①	2台目弘前市へ出発。
	17:00	被ばく状況調査チーム	サーベイ終了。
	19:30	石巻医療支援チーム①	ビジネスホテル石巻へ。
			チーム内ミーティングを行う。
	20:00	被ばく状況調査チーム	福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部 ミーティング。
21:00	整形外科	岩手県立遠野病院から岩崎整形外科助教到着。	
21:30	石巻医療支援チーム①	2台目本院着。	
3月26日(土)	7:00	石巻医療支援チーム①	石巻赤十字病院 ミーティング。
			石巻赤十字病院の外来診察及び事務職員は外来受付業務。
	8:00	被ばく状況調査チーム	福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部 ミーティング。
	8:30	被ばく状況調査チーム	福島県自治会館 緊急被ばく医療調整本部 いわき市保健所, いわき市立大浦小学校 いわき市梅ヶ丘集会所にてサーベイランス。
17:00	石巻医療支援チーム①	越前循環器内科, 呼吸器内科, 腎臓内科助教より業務が非常に多忙で, 衛生面も悪く1週間の滞在は難しい。 他大学からのチームも3泊4日の行程が多数との連絡有り。 ローテーションを短くして欲しいとのこと。	
		花田病院長, 千葉事務部長に相談。 第2陣を29日(火)からの派遣とし, 3泊4日での調整をすることとなった。	
3月27日(日)	7:00	石巻医療支援チーム①	石巻赤十字病院 ミーティング。
	8:30	石巻医療支援チーム①	河北地区飯野川中学校体育館避難所で医療支援。
	10:25	事務部	福田消化器内科, 血液内科, 膠原病内科科長に現地状況説明し, 花畑消化器血液内科学講座助教には29日からの派遣をお願いしたい旨伝え, 了承。花畑消化器血液内科学講座助教には福田消化器内科, 血液内科, 膠原病内科科長から連絡してくれるとのこと。

月日	時刻	対応部署	被害及び対応状況等
	10:30	消化器内科, 血液内科, 膠原病内科	福田消化器内科, 血液内科, 膠原病内科科長より, 花畑消化器血液内科学講座助教が手術, 検査の予定があるため 29 日からは難しい。 別に病院として考えて欲しいとのこと。
	10:30	事務部	砂田看護部長へ現地状況説明し, 第 2 陣を 29 日から派遣する旨連絡し, 調整を依頼。月曜に調整とのこと。その後は 3 泊 4 日の行程であることを伝える。
	10:50	事務部	事務職員の派遣候補者にも 29 日出発の 3 泊 4 日の心つもりでと連絡済み。
	11:25	事務部	袴田消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科科長へ米内山消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科医員の 29 日派遣について照会。
			袴田消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科科長から米内山消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科医員に確認, 了承。院内で仕事とのことだったので, 本人に確認。
			月曜改めて連絡することを確認。
	11:41	石巻医療支援チーム①	午前の活動終了(長谷川経営企画課予算管理担当係長より電話あり)。
			看護師 2 名で健康チェック →診察の必要があれば医師へ →診察, 処方
			事務職員は誘導, 着替えの手伝い, 体温計を渡すなどの補助業務。
午後は同避難所で活動再開予定(昼, 一旦石巻赤十字病院へ戻る)。			
今後の活動。			
桃生・河南地区, 河北地区を日赤医療センター, 本院と他 1 チームの 3 チームで担当。			
16:30	石巻医療支援チーム①	石巻市立飯野川中学校体育館避難所で活動終了。1 日約 20 人診察を行った。	
18:00	石巻医療支援チーム①	石巻赤十字病院 ミーティング。	
3月28日(月)	事務部	1ヶ月程度本学教育学部の公用車を借りる手配。	
		通行止めが解除になったため, 緊急車両の標章を交付していないことを警察署に確認。	
	14:22	文部科学省大学病院支援室	玉上文部科学省大学病院支援室室長より現状確認の電話有り。
3月29日(火)	7:00	石巻医療支援チーム①	石巻赤十字病院 ミーティング
	8:42	石巻医療支援チーム①	9:30 から河北地区の避難所で活動開始予定。
			本日は 15:00 に活動終了予定。15:30 には石巻赤十字病院に戻る予定。
	10:10	石巻医療支援チーム②	本院 公用車にて出発。
	18:00	石巻医療支援チーム②	石巻赤十字病院 ミーティング。
22:30	石巻医療支援チーム①	本院帰着。	